



【 余命 1 年の宣告をうけて・・・ 】

平成 25 年 1 月 沖縄県宜野湾市在住 M・A さん（48）主婦

2 年前、右側の乳首からの出血に「もしかして乳がん?」と心配になり病院で検査を受けました。その結果、恐れていた通り医師から「乳がんです」との宣告。このまま全身ガンに蝕まれて死んでしまうのではないかとあまりにもショックと不安に寝込んでしまいました。しかし家族や医師から早期治療を勧められ手術を受ける決意をしました。手術は無事成功しガンも消え、日々健康のありがたさを噛みしめながら元の生活を取り戻していきました。そんな安心しきっていた矢先の平成 24 年 9 月の検診で、反対側の胸にガンが再発しているのが見つかり、さらに肺にも転移している事が確認されました。

そして突然に告げられた医師から「余命 1 年」の言葉。もう目の前が真っ暗になり、生きる気力さえ失ってしまいました。そんな姿を目の当たりにした友人が「もずくフコイダンエキス 6000」についての効能や体験談の話聞かせてくれました。私は半信半疑のまま海洋食品が製造販売する「もずくフコイダンエキス 6000」の担当者の方に飲み方の説明を受け、平成 24 年 10 月 15 日より飲み始め、それと並行して、10 月 22 日に抗ガン治療を受けました。すると、前回酷かった嘔吐などの副作用が軽減し、髪の毛も殆ど抜けることなく、手足の激痛もなかった事には驚きました。

そして、一番驚いたのは 1 カ月後の 11 月 25 日のマーカー検査の結果で「ガン細胞」が半分に減っていた事です。この結果には、医師も私も本当に驚きでした。

今回、私が体験談を望んだのは、私の様な多くのガン患者の人たちに少しでも生きる希望と夢を与えられたらと思ったからです。最後に「ガンは治る」と信じて諦めないでください。

追記：平成 25 年 4 月の癌マーカー検査の結果、お医者様より【完治】の言葉を頂きました。



【 ガン宣告の苦悩から解放されて今！ 】

平成 24 年 3 月 沖縄県那覇市在住 K・Kさん 主婦

平成 23 年 11 月の事です。

職場の健康診断を受けたところ、後に医師から再検査を勧められました。

その結果、「肺ガンでステージ“4”」との告知を受け脳にも転移していることを医師から知らされました。

医師からの突然の宣告！頭の中が真っ白になり、スローモーションの様に時間が小刻みに進む中「私
が、、ガン？ そんなバカな！」、「どうして、、」、「私が何をしたの？」

ガン=治らない病気=死。そんな絶望感・落胆・不安に毎日泣き暮らしていた私の姿を見て、兄が知人で

「もずくフコイダンエキス」を製造販売している玉城さんを紹介してくれました。玉城さんは私の病状を聞き

「もずくフコイダンエキス」を進めてくれました。1 カ月後の検診で「肺・脳にあったはずの“ガン細胞”が半分に

縮小！！」の結果を聞いて驚愕しました。

さらにその 2 カ月後、肺にあったはずの“ガン細胞”が消えて無くなっていたのです。

医師も不思議がっていました。その時の私は「え～、やったー！ガンに勝った！！」と真っ先に「もずくフコイダ
ンエキス」を勧めてくれた、玉城さんに報告の電話を入れました。

玉城さんも共に喜び「ガンもまた生活習慣病の一つですからね。」とおっしゃっていました。

それからは、朝・昼・晩と 3 回飲んでた「もずくフコイダンエキス」を寝る前にも 1 回と飲む回数を増やしま

した。

そして、今回の検診では最後まで残っていた“脳のガン細胞”もカサブタ状態になっているとの事でした。この

まま行けば、完治も夢ではないと確信しています！！